

令和2年度 入試スケジュール

フレックスコース			フレックスコース		
・システム創成工学科			・システム創成工学科		
AO入試I			AO入試II		
センター試験を課さない ★第2次選抜(指定する1日、面接担当者が受験者の居住地へ個別に訪問して実施)			センター試験を課さない ※山形県内枠あり ★出願に際し、説明会への参加及びエントリーが必要		
出願 8/6~8/16正午			出願 8/6~8/16正午		
第1次 書類選抜 合格発表表 8/29			第1次 選抜 8/24 合格発表表 8/29		
第2次 選抜★9/24~9/27			第2次 選抜 9/28		
最終合格発表表 10/3			最終合格発表表 10/3		
入試のPoint			入試のPoint		
●AO入試II ・第2次選抜の配点変更			●AO入試II ・第2次選抜の配点変更		
●AO入試III ・建築・デザイン学科で新たに実施 ・センター試験の合計得点の基準点を変更			●AO入試III ・建築・デザイン学科で新たに実施 ・センター試験の合計得点の基準点を変更		
●一般入試 前期 ・化学・バイオ工学科で配点変更			●一般入試 前期 ・化学・バイオ工学科で配点変更		
2019年			2019年		
8月			8月		
11月			11月		
12月			12月		
2020年			2020年		
1月			1月		
2月			2月		
3月			3月		

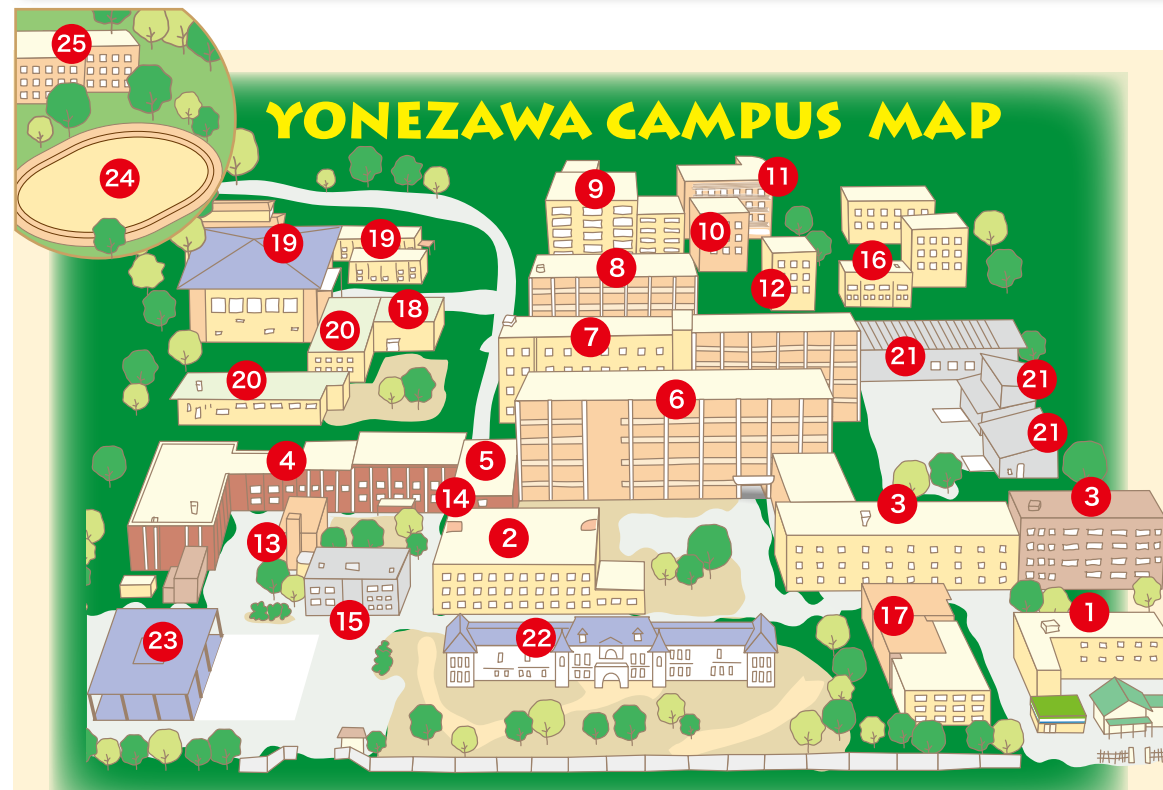
試験会場 米沢キャンパス

入試案内について、詳しくは「令和2年度入学者選抜要項」でご確認ください。
要項はホームページから請求いただけます。

山形大学HP「入試案内」又は「受験生の方」→「資料請求」



お問合せ 0238-26-3013 (学務課入試担当)
受付時間 平日8:30~17:00 (土日・祝日を除く)



- 1 1号館
- 2 2号館
- 3 3号館
- 4 4号館
- 5 5号館
- 6 6号館
- 7 7号館
- 8 8号館
- 9 9号館
- 10 10号館 (有機エレクトロニクス研究センター)
- 11 11号館 (有機材料システムフロンティアセンター)
- 12 グリーンマテリアル成形加工研究センター
- 13 講義棟
- 14 学生サポートセンター キャリアサポートセンター
- 15 事務棟
- 16 国際事業化研究センター
- 17 図書館・学術情報基盤センター
- 18 保健管理室
- 19 体育館・課外活動施設
- 20 学生食堂・工学部会館
- 21 ものづくりセンター A~D棟
- 22 旧米沢高等工業学校 本館
- 23 工学部百周年記念会館
- 24 工学部グラウンド
- 25 新・白楊寮 (2019年4月入居開始)



学費

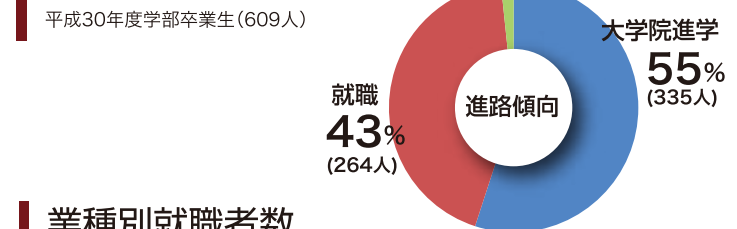
分納や免除制度を用意しています。詳しくは工学部ホームページをご覧ください。

入学料 授業料
 全学部……282,000円 全学部……535,800円(予定額)
 ※工学部フレックスコースは半額 ※工学部フレックスコースは半額

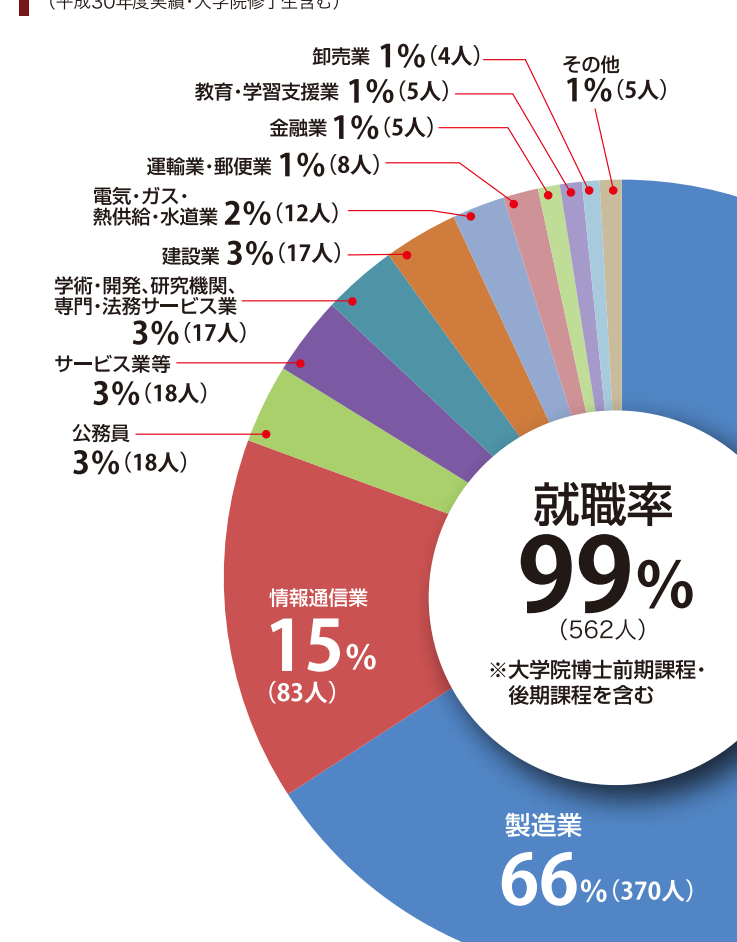
就職率

本学では就職率99%と言う安定した実績を重ねています。特別な技術を要する現場で必要とされる人材を育てます。

卒業後の進路傾向



業種別就職者数



山形大学 工学部/大学院 理工学研究科(工学系)・有機材料システム研究科

〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3-16 山形大学工学部広報室担当 TEL 0238-26-3419 FAX 0238-26-3777
 E-mail: koukocho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp URL: https://www.yz.yamagata-u.ac.jp/

Yamagata University Faculty of Engineering / Graduate School of Science and Engineering(Engineering) 〒992-8510 Jonan4-3-16, Yonezawa-shi, Yamagata, Japan



「新白楊寮 入寮開始!!」

新築された学生寮は、重量鉄骨造3階建て。バス・トイレ、ミニキッチン付の完全個室。定員250人。女子や留学生も受け入れます。面会室のほか年齢・学科不問で仲良しになれるラウンジ(食堂)、コミュニティスペース、交流室、売店、コインランドリーもあり、無料インターネット(Wi-Fi)も利用できます。希望者には朝夕の食事を別料金で提供します。



山形大学工学部長 飯塚 博

世界トップレベルの研究現場で最先端の工学を学ぶ

山形大学工学部では、有機材料、化学・バイオ、さらにそれらに関連した機械や電子情報システムに関する分野で世界的な研究開発拠点を形成しています。そして、多くの産官学連携プロジェクトや企業との共同研究に取り組み、大きな成果をあげています。そのトップレベルの研究開発拠点を活用して、課題発見・解決型の実践教育や起業家精神を育むアントレナー教育を展開しています。

企業との共同研究費、伸び率全国1位

教育の目的は「思考を豊かに」することです。高校生から大学生に至る年頃には多感な時期であり、この時期にできるだけ「リアルな課題」に出会って刺激を受けることが、成長に繋がります。「リアルな課題」とは本物の課題であり、真実勝負する実践の現場にあります。本物の課題に出会い、その課題を抱えながら自分の足で歩み始めることで、学ぶ動機が確かなものになり、解決策や知恵が湧き出てきます。

山形大学工学部では、その実践を経験できる教育環境を、企業との共同研究費伸び率全国1位に繋がる多くの産官学連携プロジェクトの実施とともに整えてきました。当初の取組みは有機エレクトロニクス研究であり、それが印刷エレクトロニクス、センサー開発、ビッグデータ解析、そして柔らかロボットを創るプロジェクト等に広がっています。昨年6月には、「有機材料システム事業創出センター」が開所しました。そこには大学発ベンチャーと地域企業が入り、新たな事業創出とそれを支える人材育成に取り組んでいます。

課題解決力やセンスを磨く

昨年度から、起業家精神を養うアントレナー教育が本格始動しています。早稲田大学等複数の大学と連携し、湧き出したアイデアを形にするための実践教育です。昨年度、このプロジェクトから早くも4件の学生ベンチャーが

立ち上がりました。リアルな課題として、地域の自治体等と連携した地域課題が取り上げられることもあります。また、地域企業から若手技術者も参加しており、バックグラウンドの異なる人達との交流も含め、課題解決力やコミュニティデザインのセンスを磨いています。社会に役立つ物やシステムをワクワクしながら創り出しています。

新たな価値の創造

工学の目的は「新たな価値の創造」です。山形大学工学部では、産官学連携の共同プロジェクトと共に、食品や医学系分野も含め、多くの教員が魅力的な基礎・応用研究を展開しています。そこから、新しい科学や技術が生まれてきます。基礎研究でも社会実装に結び付く応用研究でも、教育に大切なことはリアルな課題と実践の現場です。山形大学工学部は入学定員650名の大きな工学部であり、多くの教員が多様な研究を展開しています。

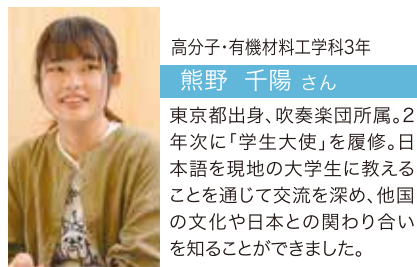
さらに、本学に建築・デザイン学科が誕生しています。これまで文系分野を主に学んで来た方々でも受験できる入試を行い、意匠やデザイン分野の教育研究を開始しています。現在、建築・デザイン学科の校舎を米沢キャンパスに建設中です。そこには、多彩な工学の分野から学生・教員・社会人が集い、連携して、新たな価値の創造を目指す空間を作ろうとしています。是非、山形大学工学部を皆さんの活躍のスタート地点にして、大きく羽ばたいて頂きたいと思います。

山形大学工学部 学生座談会

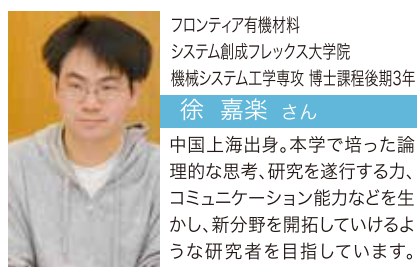
世界最先端の研究開発拠点で工学の面白さ & 創造力を深めて、自ら新分野を拓く力を育てる



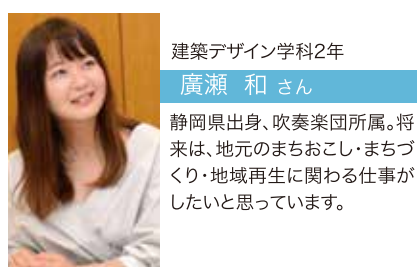
工学部副学部長 (教育担当) 化学・バイオ工学科 野々村 美宗 教授
触覚、摩擦、感性機能材料。界面化学を切り口に薬や食品、化粧品などに欠かせない触覚、手触りのメカニズムに迫る研究を行っています。



高分子・有機材料工学科3年 熊野 千陽 さん
東京都出身、吹奏楽団所属。2年次に「学生大使」を履修、日本語を現地の大学生に教えることを通じて交流を深め、他国の文化や日本との関わり合いを知ることができました。



フロンティア有機材料システム創成システム創成工学部 機械システム工学科 博士課程後期3年 徐 嘉善 さん
中国上海出身。本学で培った論理的な思考、研究を遂行する力、コミュニケーション能力などを生かし、新分野を開拓していきたい研究者を目指しています。



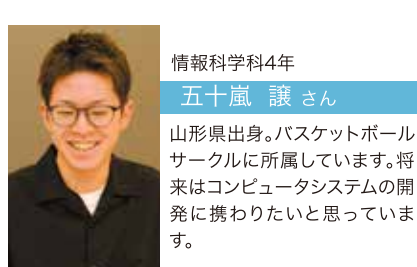
建築デザイン学科2年 廣瀬 和 さん
静岡県出身、吹奏楽団所属。将来は、地元をまちおこし・まちづくり・地域再生に関わる仕事をしたいと思っています。



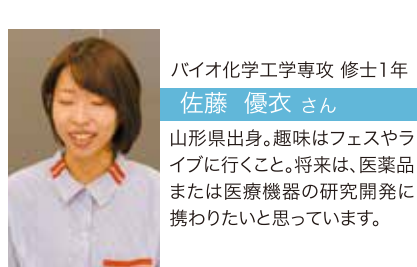
システム創成工学科1年 山内 和杜 さん
福島県出身、弓道部と地域のお祭りなどに携わる学生サークル「Accel Link米沢」に所属しています。セキュアプログラミングをするような会社に就職するのが夢です。



有機材料システム研究科 有機材料システム専攻 修士1年 長崎 茜 さん
山形県出身。2018年10月「わらびもちのナノスケール構造と粘弾性挙動の相関」で第66回レオロジー討論会優秀ポスター発表賞を受賞しました。



情報科学科4年 五十嵐 謙 さん
山形県出身。バスケットボールサークルに所属しています。将来はコンピュータシステムの開発に携わりたいと思っています。



バイオ化学工学専攻 修士1年 佐藤 優衣 さん
山形県出身。趣味はフェスやライブに行くこと。将来は、医薬品または医療機器の研究開発に携わりたいと思っています。



工学部との出会いはオープンキャンパス。模擬講義に興味津々

学生が主役の大学運営。高い研究力

司会：本日は、山形大学工学部の魅力を伝える座談会にお集まりいただきありがとうございます。どんな話が飛び出すか楽しみです。はじめに入学のきっかけから伺っていききたいと思います。
熊野さん：私は、高校生の時から高分子を勉強したいと思っていました。国公立の大学がいいなと思っていて、高校の先生に相談したら山形大学を薦められました。
司会：熊野さんは、東京都の出身だから近くにいるんな大学があったでしょう。
熊野さん：はい。でも関東圏内ではなくて少し遠い方が面白いかと思います。
徐さん：私は、小さい頃からものづくりが好きで、機械

系のエンジニアを目指しています。日本に来てからずっと宮城に住んでいたのですが、進学するのなら東北でいいなと思っていました。調べると山形大学は「学生が主役となる大学創り」を目指した大学運営を行っていることがわかってきました。伝統があって、研究力が高いところにも魅力が感じられました。

授業料が安いシステム創成工学科

山内さん：僕は、高校1年生の時にオープンキャンパスで模擬講義を受けて面白いなと思ったのがきっかけです。出身が福島県福島市なので実家にも近いし、特に僕が勉強しているシステム創成工学科は、授業料が安く、授業は午後から始まります。午前中に

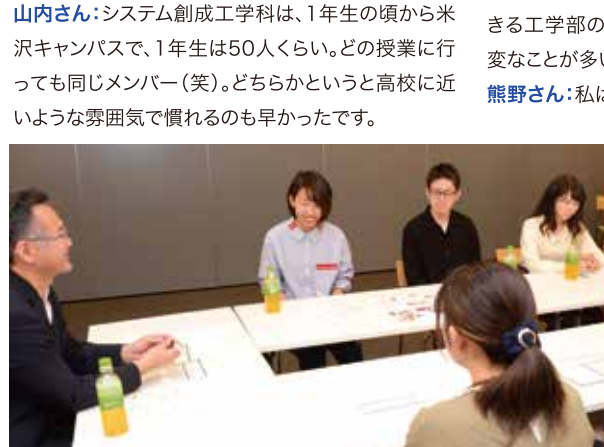


学年が上がるにつれ自由度が高くなる 広い視野を身につけ専門分野を掘り下げる

記憶に残る「山形から考える」授業

司会：今日、お集まりいただいた皆さんは、入学してまだ数カ月の方から大学院生まで様々です。実際、大学で学んでみていかがですか。
佐藤さん：学年が上がるにつれ自由度が高くなる大学だと思います。授業も自分の専攻だけでなく1年次の基礎共通教育では、歴史の授業も履修できました。すごく楽しかったのを覚えています。アンデスやインカの授業が面白かったのですが、基礎共通教育は、私の周りでは賛否両論あります(笑)。
五十嵐さん：工学部なので僕も最初から専門的な内容を勉強するのかもしれないけど1年生は、一般教養科目が中心。科目の幅が広くて、そこから興味を持てるものを選んで学ぶことができたので良かったと思っています。2年生になると専門の科目が増えます。前期はついていけるかと不安でしたが、先生方が一から丁寧に教えてくださったので理解することができました。
長崎さん：1年生の時に勉強した小白川キャンパスでは、サークルとかバイトとか、よく見聞きするような大学生のキラキラした時間を満喫しました。基礎共通教育の文系科目は、高校で習ったことのない内容で知見が深まりました。高校の復習という基礎をしっかりと学べたのでよかったと思います。2年生から米沢キャンパスになりました。米沢では他学科、他研究室の友達が増えました。学会に参加することで他大学や企業の方とも知り合いになりました。
廣瀬さん：建築デザイン学科も1年生の時は、皆さんお

っやっていたように基礎共通教育を履修しました。特に「山形から考える」という授業が印象に残っています。山形大学ならではの授業だと思います。一方で当時、まだ製図室がもらえてなくて早く製図したいと思っていたのですが、2年生になっていざ始まる結構難しく、期限までに課題を仕上げるのが大変な日々です(笑)。
司会：ここでちょっと佐藤さんが、賛否両論あると言っていた基礎共通教育の一般教養についてフォローしておきたいです。実は、一般教養って全ての研究のベースになるものなんです。専門を極めて世界を目指す皆さんにとって、教養は、広い視野を身につける大事な時間です。歴史やバイオ化学も兼ねているように実は深いところでつながっています。続いて山内さん、いかがですか？
山内さん：システム創成工学科は、1年生の頃から米沢キャンパスで、1年生は50人くらい。どの授業に行っても同じメンバー(笑)。どちらかというと高校に近いような雰囲気慣れるのも早かったです。



4年生で気づいた研究に必要な力

徐さん：大学は自由になって感じます。履修科目も自分で選択できますし、興味を持った分野を掘り下げて勉強することもできます。それと自分は、高校生の頃から工学部イコール研究というイメージがありました。に課題を仕上げるのが大変な日々です(笑)。
山内さん：システム創成工学科は、1年生の頃から米沢キャンパスで、1年生は50人くらい。どの授業に行っても同じメンバー(笑)。どちらかというと高校に近いような雰囲気慣れるのも早かったです。
熊野さん：私は、授業もそうなんですけど、入学する前からほかの大学の人も来ていました。米沢キャンパスでは、私が入っている吹奏楽団に米沢市内の大学の学生たちもいて、いろんな女子大生と交流できるので楽しいです。
司会：それはよかったですね。工学部には雰囲気の違いはありますか？
熊野さん：全然違います(笑)。工学部にはないキラキラ感があります。

山形大学工学部には、日本初の人造繊維開発の流れをくむ有機材料の基礎技術と産業化への貢献の精神が、今も脈々と受け継がれています。研究者の層も厚く学部内では、日々世界トップレベルの研究が行われています。この度の座談会では、工学部への進学を目指している皆さまのために現役の学部生と大学院生が、本学部の魅力を熱く語り合いました。

本格的な実験で高分子を作る

司会：山形大学工学部の魅力って何でしょう。
熊野さん：2年生の後期から授業で、専門的な学生実験に取り組むことができます。私は、高分子を作っているんですけど、結構長い待ち時間にT.Aの方から研究内容とか、「〇〇研究室いいよ」とか、いろいろ聞けるところがいいなと思っています。
司会：熊野さんは、実験で高分子を作っているんですね。僕も工学部の出身ですが、そういう本格的な実験はそんなにしませんでした。これはほかの大学ではなかなかできないことですね。
徐さん：山形大学工学部は、教育プログラムがとても充実していると思います。学部1年生では専門分野

の基礎になる科目を履修できます。2年生になると実際に工作機械を使う実習があります。3年生では、専門分野の課題に取り組みながら、研究を行っていく上で必要な考え方を養うことができます。4年生になると自分の研究テーマに基づいて研究を進めていきます。私は知識、経験、研究に対する考え方を積み上げて行けるこのプログラムが、とてもよかったですと感じています。大学院は、研究がメインです。私が在籍している機械システム工学専攻では、多くの研究室があって日々世界最先端の研究が行われています。私は、物体の質感などの触覚情報を指に提示することを目指して、触覚ディスプレイの開発を行っています。特に自分の作製したデバイスが動いた瞬間の感動は、言葉では言い表せないほどの嬉しさ達成感を感じます。
司会：徐さんは、修士の時から博士課程に進むと決めて、5年間みっちり研究するフレックス大学院の今5年生です。グローバルリーダーを育成するカリキュラムでドイツにも留学されたそうなんです。
徐さん：はい。海外研修では、留学先の研究機関と交渉を行っていきました。現地の研究者の方々と研究を進め、また、その国の文化を感じることができ、貴重な経験しました。



バイトも出来るし、自動車学校も空いている時間通えるのでいいなと思っています。もう一つシステム創成工学科は、1年次の成績次第で2年次に自分の好きなコースに進めるのもいいなと思っています。
長崎さん：私は、材料科学に興味があって、将来は研究開発やものづくりの現場に携わりたいと思っています。実際に近い大学を探していた時に、山形大学の高分子のニュースをテレビで見て決めました。
五十嵐さん：僕は、東北圏内の国公立の大学に行きたいと思っていました。センター試験の後、担任の先生から山形大学を薦められて、即答で「はい」と返事しました(笑)。数学に興味があったので一番数学を使いそうな情報工学にしました。
廣瀬さん：私は、高校の先生とセンター試験の結果を見ながら決めました。
佐藤さん：私もセンター試験で山形大学工学部にしました。

材料科学において 地方国立大学でトップクラス 先生方はグローバルに活躍

自分を信じて受験勉強頑張る

司会：最後に本学を目指す高校生にメッセージをお願いします。
熊野さん：自然に囲まれながら好きな専門分野をじっくり学べる環境で、一緒に勉強しましょう。
徐さん：授業の内容や研究、進路に関して親身になって相談にのってください先生方や、同じ志をもち切磋琢磨できる仲間と充実した毎日を送る大学です。自分を信じて勉強頑張ってください。応援しています。
廣瀬さん：1年生の時の基礎共通教育で理系、文系問わずいろんな勉強をしている学生と知り合えるので、すごく刺激になります。自然に囲まれてのんびり学ぶキャンパススライムがいいと思います。
山内さん：歴史がある学部で、先生方はグローバルに活躍しています。地域の人のための交流も大事にしている大学なので、ぜひオープンキャンパスでその魅力に触れてほしいと思います。



やりたいことを見つけられる大学

長崎さん：山形大学は、材料科学において地方国立でトップクラスの大学です。世界最先端の研究をしている先生方から、たくさんの教育を受けることができます。入学時、まだ将来の職業が見えてなかったのですが、様々な実験や学会発表を経験する中で、企業での研究開発職に就きたいと思うようになりました。やりたいことを見つけた、業界を知りたい人には、ぜひこの大学だと思います。
五十嵐さん：受験勉強の範囲が広くて大変だと思います。特に工学部は理系科目の知識が重要になるので、普段から基礎的なところから理解できるようにすることをお勧めします。将来の職業が見えてなかったのですが、様々な実験や学会発表を経験する中で、企業での研究開発職に就きたいと思うようになりました。やりたいことを見つけた、業界を知りたい人には、ぜひこの大学だと思います。これは、研究室の先生の受け売りなんですけどどこでやったらかじゃなくて、そこで何をやってきたかというのが大学では重要になると言っていました。ホントにそうだと思うので、まずは受験勉強がんばってください。
司会：いいことばですね。今日は、お話を伺いながら本学での学びと研究を、皆さんそれぞれに謳歌していらっしゃる時間が分かって嬉しく思いました。工学の面白さをこれから入学して行く皆さんと分かち合える日が楽しみです。本日は、ありがとうございます。



山形大学工学部・学科のご紹介



Faculty of Engineering
YAMAGATA University 2020



高分子・有機材料工学科	140名
化学・バイオ工学科	140名
情報・エレクトロニクス学科	150名
機械システム工学科	140名
建築・デザイン学科	30名
システム創成工学科	50名

高分子・有機材料工学科

充実した教育・研究スタッフによる世界最先端の教育・研究がここにあります。



学科の教育目標

高分子・有機材料に関して分子レベル(化学)から材料レベル(物理)まで一貫した基礎知識を有し、地域社会や日本あるいは世界の産業界の現状を論理的かつ合理的に解析・理解し、それを踏まえた新しい取り組みに対して自発的に行動できる人材を育成します。

カリキュラムの特徴

2年次までに基盤となる専門基礎を体系的に習得し、3年次からは合成化学、光・電子材料、物性工学の各専修コースに入り、得意分野(化学・物理)をさらに強めます。3年次後期から研究室配属を行い、実践的かつ最先端の教育・研究を行います。

進路

大学院進学率：75%
就職内定率：大学院100%、学部100%
進学先(大学院)：山形大、東京大、岐阜大、他
就職先：化学関連企業、電気・電子関連企業、自動車・機械関連企業、食品関連企業、公務員、等

身の周りの高分子・有機材料群の例



化学・バイオ工学科

応用化学・化学工学コース、バイオ化学工学コース

本学科では、化学からバイオ分野に跨る幅広い専門基礎教育とそれらの実践的な専門教育を通して、物質や生命とそれらをとらまく地球環境を総合的にとらえた視野をもち、化学・バイオ分野を基盤とする様々な産業分野で活躍できる技術者を育成します。

応用化学・化学工学コース

応用化学および化学工学に関連する基礎知識と技術を修得し、新素材、機能性材料、環境・資源、エネルギー、化学プロセス、プラントエンジニア分野に関する高度な専門教育と研究を通して、これらの分野で貢献できる人材を育成します。

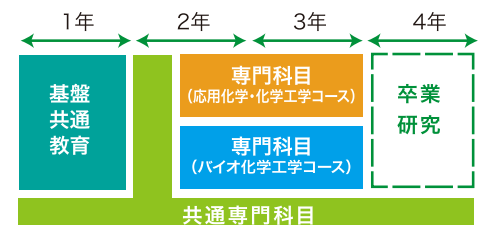
バイオ化学工学コース

化学および生命科学に関連する基礎知識と技術を修得し、医療関連、医薬品、化粧品、食品、機能性材料、環境分野に関する高度な専門教育と研究を通して、これらの分野で貢献できる人材を育成します。



カリキュラムの特徴

基盤共通教育：一般教養と工学基礎的な学習
専門科目：各コースに関連する専門的な学習
共通専門科目：両コース共通の専門的な学習



進路

大学院進学率：54%
就職内定率：大学院 100%、学部 99%
進学先(大学院)：山形大、東北大、岩手大、他
就職先：化学関連企業、プラント関連企業、医薬品・化粧品・食品関連企業、医療・福祉機器関連企業、自動車・機械・エレクトロニクス関連企業、環境・エネルギー関連企業、金属・セラミックス関連企業、公務員、等

情報・エレクトロニクス学科

情報・知能コース、電気・電子通信コース

本学科では、ハードウェアとソフトウェア分野の幅広い専門知識が学習できます。

情報・知能コース

コンピュータの基礎技術・基礎理論を身につけ、高度な情報システムに活用できる能力を習得します。さらに実習や演習を通じて、実際に役立つプログラミングの知識や応用も学びます。

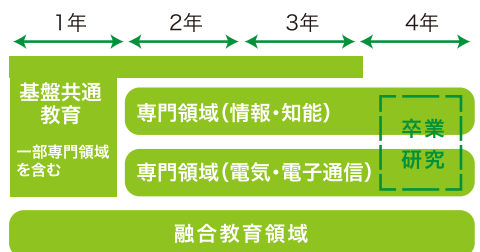
電気・電子通信コース

電子物性から電子デバイス、電子機器から、センシング、信号処理、情報通信、環境・エネルギーと広いエレクトロニクス分野をカバーしつつ、興味のある内容に力を入れて学習し、将来に繋げることができます。



カリキュラムの特徴

基盤共通教育：基礎的な学習
専門領域：各コースに関連する専門的な学習
融合教育領域：両コース共通の専門的な学習



進路

大学院進学率：50%
就職内定率：大学院100%、学部100%
進学先(大学院)：山形大、東北大、茨城大、他
就職先：情報ネットワーク、システムエンジニア、情報機器、電子デバイス、機器メーカー、産業機器、自動車、電力等の各分野、公務員、等

※進路の数値は、平成30年度の実績です。

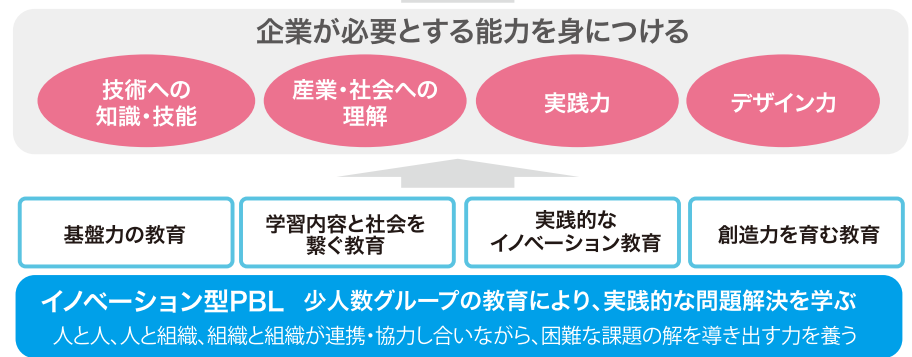
山形大学工学部は、豊かな発想力を もつ学生を育てるために 学びの可能性を大きく広げています!

平成29年4月から、工学部は、学科改編による新しい教育研究体制となりました。新設した「建築・デザイン学科」をはじめ、工学の各分野の融合を進め、幅広い基礎的知識の習得、多様化する諸課題に対応する応用実践力を養成するための環境を整備しています。

未来に向けた学びの可能性を大きく広げ、現代社会の多様なニーズに対応できる若手技術者、研究者を育て、国内外の大学や研究機関、企業等と一緒に世界トップレベルの取組を推進します。

新産業創出人

大学での教育が企業と繋がり、社会で活躍できる人材を育成



取得できる資格

所定の要件を満たした場合、免許の取得資格や受験資格等が得られます。詳細は、お問い合わせください。

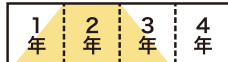
高分子・有機材料工学科	高等学校教諭 一種免許状(工業)	毒物劇物取扱責任者
化学・バイオ工学科		電気主任技術者
情報・エレクトロニクス学科		技術士補
機械システム工学科		一級建築士・二級建築士・木造建築士受験資格/一級・二級建築施工管理士受験資格・インテリアプランナー登録資格
建築・デザイン学科		
システム創成工学科		

機械システム工学科

本学科では、機械工学の基盤としての力学から、設計・製図・機械工作・計測法などの実学系科目の修得を経て、先端的な応用分野まで幅広く学習できます。

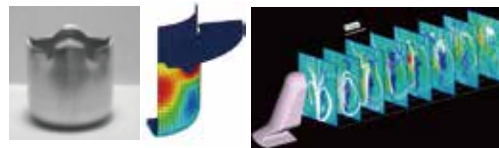
基盤としての力学系科目の学習

物理・数学を発展させて、材料力学、流体力学、熱力学、機械力学を修得。全ての応用分野に通じる基礎となります。



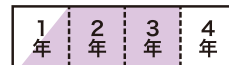
機械を動かすための科目の学習

機構学、制御工学、エレクトロニクス、電気・電子回路、プログラミング等の機械を動作させるための知識を修得。



ものづくりの実践的科目の学習

機械製図、機械設計、各種計測・実験法、機械工作法等のものづくりの実践方法を修得。また、Project-based Learning (PBL)形式の科目を通じ、複数の解があるエンジニアリングデザイン問題へ挑戦し、技術者としての基本的素養を身につけます。



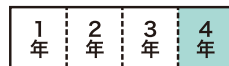
幅広い応用的分野の学習

エネルギー変換工学、航空宇宙工学、ロボット工学、生体工学、医用工学、知能工学、計算力学等の幅広い応用分野を学習します。



卒業研究

30以上ある研究室から選択可能です。技術や学問の先端に挑戦し、自ら能力を伸ばします。



JABEE認定コース

本学科の教育プログラムは、日本技術者教育認定機構(JABEE)の認定を受けており、卒業者は技術士(国家資格)の一次試験が免除され、技術士補となる資格が与えられます。

進路

大学院進学率:55%
就職内定率:大学院100%、学部100%
進学先(大学院):山形大、東北大、筑波大、千葉大
就職先:一般機械、鉄鋼、車両、輸送機器、非鉄金属、電機、電子、情報、設備、建設、医療機器、精密機械、食品、化学、電力、運輸、等

建築・デザイン学科

工学基盤分野との融合による既存の技術にとらわれない都市・建設空間を創造する

高等学校の文系コースから一級建築士になれる数少ない国立大学です。

養成する人材像

建築分野を中心に地域の発展に貢献できる

- デザインから工学にわたる幅広い知識と技術を兼ね備える
- 地域の風土に根差した建築設計・都市計画を追求できる
- 他の工学分野とも連携して学際領域で新たな価値を産み出せる



カリキュラムのイメージ

- 講義(1~3年) 基盤共通教育科目、建築系、デザイン系、工学系
- 実習・実験・調査(2~3年) 地元企業との交流、実際の建物での観測や調査
- 研究・設計(4年) 卒業研究、卒業設計、卒業制作



進路

進学先(大学院):東京大
就職内定率:100% 就職先:一条工務店、大日本土木、小野建設、東北電化工業、前田建設工業、安藤・間、積水ハウス、鴻池組、フリーダムデザイン、佐藤工業、ステーツ、日本建設、等
※平成29年4月に設置。前身となる地域教育文化学部生活環境科学コースの卒業生の進路。

システム創成工学科 未来を創る、モノづくりヒトづくり

本学科では、機械工学に関する基礎的な知識を持ちながら、専門領域の知識を横断的にカバーし、ものづくりを俯瞰する能力を有する技術者を育成します。

社会人として必要な社会人基礎力を養成するために、技術者倫理やパテント教育を実施。また、地元自治体等と連携し、キャンパス内では収まらない授業も展開しています。さらに、1年生から研究を体験できるチャレンジコースも備えています。



体験型授業のひとつ
—米沢市の伝統工芸品笹野一刀彫「お鷹ポット」の絵付をする1年生—

カリキュラムの特徴

1年次から4年次まで米沢キャンパスで講義、実習等を履修します。自身が学ぶ専門分野は、1年次後期に決定し、2年次以降は各自が選択した専門分野の勉強を昼間コースの学生と一緒に履修していくカリキュラムとなっています(エンジニアリングコース)。また、社会人の生涯学習の場としての機能も備え、夜間開講科目のみの履修でも4年間で卒業可能です(システム創成専修コース)。

その他の特徴

- (1) 入学科・授業料が昼間コースの半額
- (2) 数学・物理などの基礎科目については少人数制教育を実施
- (3) 1年次から審査を経てラボ・ゼミナールを受講可能(チャレンジコース)
- (4) 社会人の基礎力となる特許やマーケティング、価値創成、技術経営の基礎を学習可能

チャレンジコース(審査あり)
☆1年生からラボ・ゼミナールで研究にチャレンジ

入学金、授業料半額!
1年生から米沢キャンパス!

